

令和6年度
所沢市男女共同参画に
関する市民アンケートの結果

所沢市企画総務課男女共同参画室

1 調査の目的

所沢市では、令和元年度に第4次所沢市男女共同参画計画を策定し、男女共同参画に関するさまざまな取り組みを進めています。この調査は計画の進捗状況の確認と、所沢市の現状の把握のほか、市民の意見を伺うため実施しました。

2 調査の設計

- 調査対象 所沢市在住の18歳以上の男女
- 配布数 2,000人（男性1,000人、女性1,000人）
- 抽出方法 住民基本台帳により年齢層ごとに無作為抽出を行いました
- 調査方法 郵送配布
- 調査期間 令和7年2月14日～3月28日
- 質問項目 Q1～Q21（総質問数 42問）

3 回収結果

	配布数	回答人数	回答率 (回答数/配布数)	構成比 (回答数/回答総数)
男性	1,000	227人	22.7%	44.1%
女性	1,000	282人	28.2%	54.7%
その他	—	1人	—	0.2%
無回答	—	5人	—	1.0%
総数	2,000	515人	25.8%	100.0%

4 表記について

○男女別の回答の割合を示した表については、計算の元となる回答者数（n）に「その他」と、「（性別）無回答」は含めていません。（次ページの「回答者のプロフィール」を除く）

○各表の割合を示す数値は全て百分率（%）で表し、小数点以下第二位を四捨五入しています。そのため、合計値は必ずしも100になりません。

○複数回答を可能とした質問は、合計数値が100%になりません。

○各質問で回答で割合の高かったものと、「所沢市第4次男女共同参画計画の評価指標」に該当する部分は、文字を太字にしています。

5 回答者のプロフィール（質問Q9、Q15～18より）

《Q9 あなたは現在働いていますか》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
働いている	67.2%	66.1%	68.8%		40.0%
働いていないし、仕事を探してもいない	22.1%	24.2%	20.6%		20.0%
働いていないが、仕事を探している	6.8%	7.5%	6.0%	100.0%	
産休・育休・病休などで一時的に仕事を休んでいる	1.6%	0.9%	2.1%		
無回答	2.3%	1.3%	2.5%		40.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q15 あなたの性別を教えてください》

	回答数	構成比
男性	227	44.1%
女性	282	54.7%
その他	1	0.2%
無回答	5	1.0%
計	515	100.0%

《Q16 あなたの年齢層を教えてください》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
18～19歳	18.2%	20.7%	16.7%		
20～29歳	16.3%	17.6%	15.2%	100.0%	
30～39歳	14.6%	13.2%	16.0%		
40～49歳	14.4%	10.1%	18.1%		
50～59歳	12.4%	9.7%	14.9%		
60～69歳	11.8%	14.1%	10.3%		
70～79歳	11.1%	14.6%	8.5%		
無回答	1.2%		0.3%		100.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q17 あなたは結婚されていますか(事実婚・パートナーシップ制度を含みます)》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
結婚している	48.9%	48.9%	50.0%		
結婚していたが、離別・死別した	8.5%	4.0%	12.4%		
結婚したことはない	41.4%	47.1%	37.2%	100.0%	
無回答	1.2%		0.4%		100.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

《Q18 現在、あなたと一緒に住まいの方を教えてください》

	合計	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
ひとり暮らし	11.3%	12.3%	10.6%		
本人と親	26.0%	30.8%	22.4%	100.0%	
本人と配偶者（パートナー）	19.0%	20.7%	18.1%		
本人と配偶者（パートナー）と子ども（未っ子が小学生以下）	13.0%	11.5%	14.5%		
本人と配偶者（パートナー）と子ども（未っ子が中学生以上）	11.8%	12.3%	11.7%		
本人と子ども（未っ子が小学生以下）	1.4%	0.9%	1.8%		
本人と子ども（未っ子が中学生以上）	3.1%	1.3%	4.6%		
三世帯家族（親と子と孫）	4.9%	3.1%	6.4%		
その他	8.0%	6.6%	9.2%		
無回答	1.5%	0.5%	0.7%		100.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q1 女性の地位は平等になっていますか？

(1) 家庭生活	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	8.8%	3.1%	13.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	39.9%	29.5%	48.2%
平等である	32.6%	43.6%	23.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8.4%	12.3%	5.3%
女性の方が非常に優遇されている	2.2%	3.1%	1.4%
わからない	7.5%	8.4%	6.7%
無回答	0.6%		1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 職場	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	10.4%	7.5%	12.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	41.8%	35.7%	46.8%
平等である	26.9%	32.1%	22.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	7.7%	10.6%	5.3%
女性の方が非常に優遇されている	2.2%	4.4%	0.4%
わからない	9.6%	9.3%	9.9%
無回答	1.4%	0.4%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) 学校教育の場	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	2.0%	0.9%	2.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	14.3%	10.1%	17.7%
平等である	59.1%	61.2%	57.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4.9%	7.5%	2.8%
女性の方が非常に優遇されている	2.2%	4.0%	0.8%
わからない	16.1%	15.9%	16.3%
無回答	1.4%	0.4%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 社会通念・慣習・しきたりなど	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
男性の方が非常に優遇されている	18.1%	12.3%	22.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	50.5%	44.1%	55.7%
平等である	15.5%	22.0%	10.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5.3%	8.4%	2.8%
女性の方が非常に優遇されている	1.9%	4.4%	
わからない	7.9%	8.4%	7.4%
無回答	0.8%	0.4%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○男性の方が優遇されていると感じられている項目（「男性が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）は、全体では、

(4) 社会通念・慣習・しきたりが最も多く、以下、(2) 職場、(1) 家庭生活、(3) 学校教育の場、の順となっています。

○各質問項目で「(男女が) 平等である」と答えた人は、女性より男性が多くなっています。

○(3) 学校教育の場では、「(男女が) 平等である」と答えた人が全体で59.1%となり、質問項目の中で最も多くなっています。

Q2 次の言葉をご存じですか？

(1) 男女共同参画社会	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	51.7%	56.8%	47.5%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	28.9%	28.2%	29.4%
知らない	18.6%	14.1%	22.4%
無回答	0.8%	0.9%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) ジェンダー	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	84.1%	82.4%	85.5%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	11.8%	13.2%	10.6%
知らない	3.5%	4.4%	2.8%
無回答	0.6%		1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) ワークライフバランス	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	70.7%	73.1%	68.8%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	18.3%	16.8%	19.5%
知らない	10.4%	10.1%	10.6%
無回答	0.6%		1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) ドメスティックバイオレンス	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	93.5%	93.0%	94.0%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	3.5%	4.0%	3.2%
知らない	2.4%	3.0%	1.8%
無回答	0.6%		1.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(5) LGBTQ	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	76.2%	75.3%	77.0%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	12.6%	13.2%	12.1%
知らない	10.6%	11.5%	9.9%
無回答	0.6%		1.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(6) パートナーシップ・ファミリーシップ制度	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	33.2%	27.8%	37.6%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	36.0%	34.3%	37.2%
知らない	30.0%	37.9%	23.8%
無回答	0.8%		1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(7) 選択的夫婦別姓制度	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	79.8%	80.2%	79.4%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	13.7%	11.4%	15.6%
知らない	6.1%	8.4%	4.3%
無回答	0.4%		0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○すべての項目について、「意味を知っている」人の割合は前回調査より高くなっています。

○LGBTQ（性的少数者）が社会的配慮を受けやすくなることを目的に令和4年1月に導入した「パートナーシップ・ファミリーシップ制度」については、約3割の人が「知らない」と回答しています。

Q3 「男女共同参画推進センターふらっと」をご存じですか

男女共同参画推進センター ふらっと	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
意味を知っている	7.1%	4.8%	8.9%
言葉だけは知っているが、意味はよく分からない	17.3%	9.7%	23.4%
知らない	74.8%	85.5%	66.3%
無回答	0.8%		1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価
指標

特徴等

○以下を参照

「男女共同参画推進センターふらっと」を知っている人の割合

評価 指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、計画の進捗度を測る指標として、本市の男女共同参画の総合的な拠点施設である「男女共同参画推進センターふらっと」を知っている人の割合を用いています。

今回のアンケート調査では、「ふらっと」について「知っている」「言葉だけは知っている」が全体では、24.4%となり、前回の調査結果（28.9%）より4.5%減っています。

現状値・目標値	現状値		年度別目標値			
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
実績値	30.5%	32.5%	28.9%	24.4%	49%	50%

**Q4「所沢市男女共同参画推進センターふらっと」では、男女共同参画に関する講座を実施しています。
どのような講座があれば参加してみたいと思いますか。具体的にご記入をお願いします。**

特徴等

○既存の講座「メイクアップ講座」「父と子のための料理教室」「女性のための護身法ワークショップ」の他、現在実施していないもので、「育児に関する講座」「育児パパのおしゃべり会」「メンズメイク講座」といった回答がありました。

Q5 「男女共同参画社会」をつくるために、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか (複数回答)

	全体
(1) 夫婦で参加できる家事・育児・介護に関する講座を行う	36.1%
(2) 人権教育を推進し、男女共同参画に関するテーマを取り入れた講座を行う	12.4%
(3) 学校で男女共同参画教育を行う	42.5%
(4) 市の施策に関する審議等を行う場に女性を登用する	24.7%
(5) 市職員管理職に女性を登用する	30.5%
(6) 企業に意思決定の場に女性が参画できるよう働きかける	26.2%
(7) 女性を対象とした各種相談やDV被害の救済体制を充実する	31.5%
(8) ひとり親家庭の生活安定のための支援を充実する	38.4%
(9) 女性がいきいきと職業生活を送るための資格・技能取得支援を充実する	25.6%
(10) 保育施設を充実する	47.0%
(11) 市が率先して模範となり男女共同参画の職場づくりを働きかける	26.0%
(12) 男性も女性も地域で活動し、地域のつながりをつくれるような支援	28.0%
(13) 介護家庭に対する支援を充実する	41.4%
(14) 男女共同参画を目的とした市民活動の支援を充実する	12.4%
(15) わからない	4.5%
(16) 特にない	3.1%
(17) その他	7.6%

特徴等

○男女共同参画社会をつくるために、行政に力を入れてほしいと思う施策は、(10)保育施設を充実、(3)学校での男女共同参画教育、(13)介護家庭に対する支援の充実の順になっています。

○(17)「その他」の回答として、「学童保育の充実」や「子育て世代への補助金等を充実させる。」などの子育て世代に関する意見がありました。

Q6 「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのように思いますか。

	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
その考えに賛成	2.5%	3.9%	1.4%
どちらかといえば賛成	16.7%	22.9%	11.7%
どちらかといえば反対	29.3%	26.0%	31.9%
その考えに反対	40.7%	34.4%	45.7%
わからない	9.8%	11.9%	8.2%
無回答	1.0%	0.9%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価
指標

特徴等

- 男性は外で働き、女性は家庭を守るべきについて、反対（「反対」「どちらかといえば反対」の合計）と答えた人が全体では70%となっています。一方、賛成（「賛成」「どちらかといえば賛成」の合計）と答えた人が、全体で約19.2%となっています。
- この結果はこの計画をつくった当時（平成29年調査）以降、連続して上昇している傾向にあります。
- 男女別にみると反対は男性が60.4%、女性が77.6%となり、女性の方が男性より約17.2%多くなっています。

「男性は仕事、女性は家庭」という考えに「反対」、「どちらかといえば反対」とする人の割合

評価
指標

現状値・目標値	現状値	年度別目標値				
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		52%	54%	56%	58%	60%
実績値	49.6%	63.2%	67.1%	70%		

第4次所沢市男女共同参画計画では、男女共同参画に関する意識がどの程度浸透したかを測る指標として、「男性は仕事、女性は家庭」という考えに「反対」、「どちらかといえば反対」とする人の割合を用いることとしています。

今回のアンケート調査では、全体で67.1%の人がその考えに「反対」、「どちらかといえば反対」と答えたことから令和6年度の目標値（56%）は達成しています。

Q7 この質問は、あなたを含めてご家庭に男性がいる場合のみお答えください。あなたの家庭で男性が家事（炊事・洗濯・育児・介護等）に充てている時間は1日あたりに平均すると、どの程度ですか。家庭に男性が複数いる場合は、全体の延べ時間で回答してください。

男性の家事時間 1日平均	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
なし	13.9%	6.6%	19.9%
15分未満	14.9%	10.6%	18.4%
15分～30分未満	16.3%	15.9%	16.7%
30分～1時間未満	16.5%	22.0%	12.1%
1時間～2時間未満	18.1%	22.5%	14.5%
2時間～4時間未満	10.8%	16.3%	6.4%
4時間～6時間未満	2.4%	2.6%	2.1%
6時間～8時間未満	0.4%	0.9%	
8時間以上	0.4%	0.4%	0.3%
無回答	6.3%	2.2%	9.6%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○男性がいる家庭では、全体の79.8%で男性が何かしら家事をしています。

○男性は、家事の時間を1～2時間未満と答える人が多く、女性はなしと答える人が多くっており、家事に対する捉え方や意識の差が表れています。

Q8 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についておうかがいします。

(1) 現状に最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
「仕事」を優先	21.2%	26.4%	17.0%
「家庭生活」を優先	16.5%	11.9%	20.2%
「地域・個人の生活」を優先	5.9%	5.7%	6.0%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	26.1%	24.7%	27.3%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	4.9%	5.3%	4.6%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	8.1%	5.3%	10.3%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」 を全て大事にしている	9.8%	10.1%	9.6%
わからない	6.7%	9.7%	4.3%
無回答	0.8%	0.9%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

評価
指標

(2) 希望に最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
「仕事」を優先	3.7%	4.0%	3.6%
「家庭生活」を優先	13.2%	16.7%	10.3%
「地域・個人の生活」を優先	5.3%	4.4%	6.0%
「仕事」と「家庭生活」をともに優先	27.5%	30.4%	25.2%
「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	3.6%	4.0%	3.2%
「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	8.8%	10.1%	7.8%
「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」 を全て大事にする	32.4%	22.5%	40.4%
わからない	4.5%	6.6%	2.8%
無回答	1.0%	1.3%	0.7%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- 希望に最も近いものとして、「仕事」を優先事項に含めた人は67.2%、「家庭生活」81.9%、「地域・個人の生活」50.1%となっています。
- 現状に近いものとして「仕事」を優先事項に含めた人は62%、「家庭生活」60.5%、「地域・個人の生活」28.7%となっています。
- 「地域・個人の生活」を優先したいと考えている人は5割いるが、優先にできている人が28.7%と希望と現状に大きな乖離が見られ、希望どおりの生活が難しいことがうかがえます。

「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をすべて大事にしている人の割合

評価 指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、市民の間にワーク・ライフ・バランスの意識がどの程度浸透しているかを測る指標として、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」をすべて大事にしている人の割合を用いています。今回のアンケート調査では、全体で9.8%となり、令和6年度の目標値（22%）は未達成となりました。

現状値・目標値	現状値	年度別目標値				
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		14%	18%	22%	26%	30%
実績値	10.1%	7.1%	9.9%	9.8%		

※ Q9は3ページに記載

Q10 働いている方におうかがいします

(1) 週に何時間働いていますか	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
20時間未満	18.3%	10.6%	24.2%
20時間から29時間	8.4%	6.0%	10.3%
30時間から39時間	12.0%	10.0%	13.4%
40時間から49時間	40.4%	46.0%	36.1%
50時間から59時間	11.3%	16.7%	7.2%
60時間以上	7.0%	8.7%	5.7%
わからない	2.6%	2.0%	3.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 働き方で最も近いもの	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
正社員・正職員	51.2%	62.7%	42.3%
パート・アルバイト	30.8%	22.0%	37.6%
派遣社員・契約社員	8.4%	4.0%	11.9%
自営・独立事業者・フリーランス・SOHO	5.5%	6.0%	5.2%
内職	0.6%		1.0%
家業・家族従業員	0.9%	0.7%	1.0%
その他	2.6%	4.6%	1.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- (1) に関して前は「20時間未満」と回答した女性が一番多かったが、今回は「40時間から49時間」が最も多かったです。
- (2) に関して前は「パート・アルバイト」と回答した女性が一番多かったが、今回は「正社員・正職員」が最も多かったです。

Q9、Q10-(2)、Q15、Q16 クロス集計

「20歳代から50歳代」の「就労している女性」が「正社員・正職員・自営業等」である割合

「性別」「年齢層」「働き方」のすべてに回答している人の集計。(いずれかに1つでも無回答が含まれるものは集計対象外とする。)

	人数	構成比
正社員・正職員	77	50.6%
自営・独立事業者等	8	5.3%
パート・アルバイト	43	28.3%
派遣社員・契約社員	19	12.5%
内職	2	1.3%
家業・家族従業員	2	1.3%
その他	1	0.7%
合計	152	100.0%

評価
指標

就労している女性が正社員等である割合

評価
指標

第4次所沢市男女共同参画計画では、女性の就労のための支援の効果を測る指標として、20歳代から50歳代の就労している女性が正社員・正職員・自営業等である割合を用いています。

今回のアンケート調査では55.9%という結果になり、目標値である57%に達成しませんでした、前回より上回りました。

現状値・目標値	現状値		年度別目標値			
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
実績値	52.3%	54.9%	43.6%	55.9%	59%	60%

Q10-2 あなたの職場環境についておうかがいします

(1) 男性が育児休暇を取得しやすい職場か	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
取得しやすい	24.1%	29.4%	20.1%
どちらかといえば取得しやすい	23.3%	26.0%	21.2%
どちらかといえば取得しにくい	10.5%	5.3%	14.4%
取得しにくい	17.1%	18.0%	16.5%
わからない	25.0%	21.3%	27.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 女性が育児休暇を取得しやすい職場か	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
取得しやすい	47.4%	50.0%	45.4%
どちらかといえば取得しやすい	20.6%	20.0%	21.1%
どちらかといえば取得しにくい	4.6%	2.0%	6.7%
取得しにくい	6.7%	5.4%	7.7%
わからない	19.8%	21.3%	18.6%
無回答	0.9%	1.3%	0.5%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- (1)男性が育児休暇を取得しやすい職場かの結果は、全体で「取得しやすい」が24.1%で、前回の10.5%より大幅に増えました。
- (2)女性が育児休暇を取得しやすい職場かの結果は、全体で「取得しやすい」が47.4%で、前回の39.2%より8.2%増えました。

Q11 男性または女性が育児休暇・介護休暇をとることについてどのように思いますか

(1) 男性が育児休暇をとること	全体	男性	女性	(2) 女性が育児休暇をとること	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比		構成比	構成比	構成比
賛成	68.2%	67.4%	68.8%	賛成	87.6%	83.7%	90.8%
どちらかといえば賛成	22.4%	22.0%	22.7%	どちらかといえば賛成	8.1%	10.6%	6.0%
どちらかといえば反対	2.9%	3.1%	2.8%	どちらかといえば反対	0.8%	0.9%	0.7%
反対	1.2%	1.8%	0.7%	反対	0.6%	0.9%	0.4%
わからない	4.7%	5.3%	4.3%	わからない	1.6%	2.6%	0.7%
無回答	0.6%	0.4%	0.7%	無回答	1.3%	1.3%	1.4%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

- (1)男性が育児休暇をとることについて、(2)女性が育児休暇をとることについての結果は、男女ともに「賛成」が最も多くなっています。
- 育児休暇を取得することについては、前回の調査と比べ性別問わず理解が進んでいることがうかがえます。

Q12 あなたの生活状況について、おうかがいします

	全体	男性	女性	その他	無回答
	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比
経済的にゆとりがあり、生活に満足している。	29.9%	32.2%	27.7%	100.0%	40.0%
経済的にゆとりがあるが、生活に満足していない。	13.4%	15.0%	12.4%		
経済的にゆとりがないが、生活に満足している。	44.1%	38.3%	48.9%		40.0%
経済的にゆとりがなく、生活が困難な状況である。	11.5%	13.2%	10.3%		
無回答	1.1%	1.3%	0.7%		20.0%
合計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

Q13 あなたはこれまでに、配偶者・パートナー・恋人から以下のような行為をされたことがありますか

(1) なぐる、ける、突き飛ばされるなどの身体に対する行為	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.2%	0.4%	
今現在、少しある	0.8%	0.4%	1.1%
過去に何度もあった	1.9%	1.0%	2.8%
過去に数回程度あった	8.7%	5.3%	11.3%
まったくない	87.2%	92.5%	83.7%
無回答	1.2%	0.4%	1.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(2) 人格を否定するような暴言・交友関係の監視・長期間無視などの精神的いやがらせ	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	1.6%	1.3%	1.8%
今現在、少しある	2.2%	1.0%	3.2%
過去に何度もあった	3.1%	1.3%	4.6%
過去に数回程度あった	11.4%	8.8%	13.5%
まったくない	80.4%	87.2%	74.8%
無回答	1.3%	0.4%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(3) いやがっているのに、性的な行為を強要	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.2%		0.4%
今現在、少しある	0.4%	0.4%	0.4%
過去に何度もあった	0.6%		1.1%
過去に数回程度あった	7.1%		12.7%
まったくない	89.8%	98.7%	82.6%
無回答	1.9%	0.9%	2.8%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 必要な生活費を渡さない、仕事を無理にやめさせるなど経済的に弱い立場に立たせる	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
今現在、ひんぱんにある	0.4%	0.4%	0.4%
今現在、少しある	0.8%		1.4%
過去に何度もあった	1.4%	0.4%	2.1%
過去に数回程度あった	3.3%	2.2%	4.3%
まったくない	92.7%	96.6%	89.7%
無回答	1.4%	0.4%	2.1%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○配偶者等からの暴力の被害経験についてたずねたところ、経験がある人（「まったくない」「無回答」を除く）が、全体では5～20%程度となっています。

○被害経験では、(2)人格否定などの精神的いやがらせが男女ともに最も高くなっています。

Q14 DVに対する対策や支援として、特にどのようなことを充実すべきだと思いますか（複数回答）

	全体
(1) 「DVは犯罪である」ことの啓発や、相談窓口の周知	57.1%
(2) カウンセリングなどの相談体制の充実	46.8%
(3) いざというときに逃げられる場所（保護施設）の充実	74.0%
(4) 避難後の住居や仕事などの生活支援の充実	59.4%
(5) 離婚調停などの法的な支援の充実	47.8%
(6) 加害者に対する厳正な対処	62.5%
(7) 学校でデートDV防止講座を実施する	35.9%
(8) 地域での見守り体制の整備	22.7%
(9) その他	4.3%

特徴等

○DVに対する対策・支援は、(3)いざというときに逃げられる場所（保護施設）の充実、(6)加害者に対する厳正な対処、(4)避難後の住居や仕事などの生活支援の充実、(1)「DVは犯罪である」ことの啓発や、相談窓口の周知が上位に入っています。

※ Q15～Q17は3ページ、Q18は4ページに記載

Q19 女性の方におうかがいします。あなたは困ったり悩んだりしたときに、「所沢市男女共同参画推進センター“ふらっと”」や「埼玉県男女共同参画推進センター（With Youさいたま）」などの公的な相談窓口にご相談しようと思いますか。

	女性
相談しようと思う	24.1%
相談しようとは思わない	31.9%
わからない	41.5%
無回答	2.5%
合計	100.0%

評価
指標

Q20 公的な相談窓口にご相談しようと思わない理由について（複数回答）

	女性
	構成比
人に知られたくない	16.7%
自分で解決したい	18.9%
友人や家族に相談したい	28.9%
公的な相談窓口で解決するような悩みはない	42.2%
その他	27.8%
無回答	0.0%

Q19、20 特徴等

○公的な相談窓口にご相談しようと思わない理由については、「公的な相談窓口で解決するような悩みはない」という人が一番多く見られました。「その他」には「自分自身で可能な限り答えをみつける。家族友人と相談する。」、「相談すべき内容かどうか判断できないから」といった意見があり、相談窓口について、さらなる周知の必要性がうかがわれます。

公的な相談窓口に相談しようと思う人の割合

評価指標

第4次男女所沢市共同参画計画では女性への支援策の充実度を測る指標として、女性が困ったり、悩んだりしたときに、ふらっとや埼玉県男女共同参画推進センター（With Youさいたま）などの公的な相談窓口に相談しようと思う人の割合を用いています。

今回のアンケート調査では、「相談しようと思う」と答えた人が24.1%であり、令和6年度の目標値（50%）は未達成となりました。

現状値・目標値	現状値	年度別目標値				
	平成29年度	令和2年度	令和4年度	令和6年度	令和8年度	令和10年度
		30%	40%	50%	60%	70%
実績値	25.9%	22.9%	25.4%	24.1%		

n=509

Q 21 自由意見欄

	全体	男性	女性
	構成比	構成比	構成比
回答あり	25.1%	26.4%	24.1%
無回答	74.9%	73.6%	75.9%
合計	100.0%	100.0%	100.0%

特徴等

○全回答者うちの約2割から、アンケート内容にとどまらない様々な意見がありました。「子育て・介護などに関する公的な支援を充実させるべき」、「若い世代の意見をたくさん聞いてほしい」といった要望や、「共働きをせずとも子どもを育てられるような社会を目指すことで、力を入れるべきは経済政策である」といった意見もありました。